

令和5年10月19日（木）

国体と学校行事

国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は今年7日、白波スタジアムで総合開会式が行われました。天皇、皇后両陛下をお迎えし、航空自衛隊の5機のブルーインパルスによるアクロバット飛行もあった開会式でした。来年の佐賀大会からは「国民スポーツ大会」と名称が替わりますので、「国民体育大会（国体）」としての開催は今年が最後でした。鹿児島県での開催は1972年以来51年ぶりです。コロナ禍で2020年から延期されたため、大会に回数をつけない「特別国体」として実施されました。

開会式では、各都道府県選手団の入場の際、鹿児島市内の小中学生が精一杯の拍手と声援をおくっていたのが印象的でした。もちろん、開会式だけではなく、各競技の応援に参加した生徒らは、それぞれ精一杯の声援をおくっており、それが鹿児島県選手団の活躍にもつながっている印象を受けました。

この特別国体は一昨日17日（火）に閉会しました。来週末の10月28日（土）からさ来週30日（月）までは、障害者スポーツの全国的な祭典である、「全国障害者スポーツ大会」が鹿児島で初開催されます！

県実行委員会では障害のある人もない人も、誰もがスポーツを通じて喜びや感動を分かち合うとともに、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与するとともに、鹿児島の多彩な魅力の発信につながる大会を目指しています。

喜入中の皆さんも、9月10日（日）の本校体育大会では、生徒一人一人がそれぞれの魅力を発揮すると共に、全生徒が力を合わせ成功に導いてくれました。4年ぶりの午後まで開催された体育大会でした。本県での特別国体と同様、「燃ゆる感動」を参観された保護者や地域の方々に与えてくれたと思っています。更に、喜入中の皆さんは来週行われる本校文化祭に向けても、精一杯取り組んでくれています。

「頑張れば感動」は、ある高校のキャッチフレーズです。皆さんの頑張りや、大きな感動につながります。皆さん一人一人の成長と本校の前進のために、あと1週間余りを国体の応援に負けないくらい充実させて取り組んでください。